

# 4つの財務書類からみた越谷市の財政



## 貸借対照表(バランスシート)

平成20年度末時点において、越谷市単体および第三セクター等を含めた連結ベースで市の資産がどれだけあり、その資産をどのような財源(負債・純資産)でまかなってきたかを一目で分かるようにしたものです。左側に「資産」を表示し、右側に「負債」および資産と負債の差額である「純資産」を計上しています。

貸借対照表から越谷市の財政状況を見ますと、将来世代の負担といえる「負債」に対し、これまでに整備された「資産」が約3倍あります。

※表中、表示単位未満は四捨五入のため合計が一致しない場合があります。(表示単位：百万円)

資産の部(これまで積み上げてきた資産)			負債の部(将来の世代が負担する金額)					
	越谷市単体	連結		越谷市単体	連結			
1 金融資産	(1) 現金	4,212	9,111	1 流動負債	(1) 公債(短期)	11,416	11,823	
	現金・預金など				公債残高のうち翌年度償還予定額			
	(2) 債権	8,514	9,372	(2) その他	6,367	8,378		
	未収金・貸付金など				未払金のうち翌年度支払予定額など			
2 非金融資産	(3) 有価証券	497	2,991	2 非流動負債	(1) 公債	124,075	143,348	
	(4) 投資等	15,796	15,729			公債残高のうち翌々年度以降償還予定額		
	出資金・基金など				(2) 退職給付引当金	19,738	20,005	
	(1) 事業用資産	170,383	204,212	(3) その他	27,390	27,390		
	庁舎、保育所、学校、福祉施設など				未払金のうち翌々年度以降支払予定額など			
2 非金融資産	(2) インフラ資産	372,440	428,287	負債合計	161,596	210,944		
	道路、公園、上下水道など			純資産の部(現在までの世代が負担した金額)				
2 非金融資産	(3) その他資産		17	純資産合計	410,246	458,775		
	繰延資産など			負債および純資産合計	571,842	669,719		
資産合計			571,842	669,719				

## 市の資産と負債の状況



### ① 市民1人あたりの資産と負債

越谷市単体 資産 = 179万1千円 負債 = 50万6千円  
 連結 資産 = 209万8千円 負債 = 66万1千円

### ② 道路や公園など、今までの世代で負担が済んでいるもの

越谷市単体=75.6%、連結=72.5%となります。  
 道路や公園など社会資本に対する、現在までの世代の負担割合(社会資本形成の世代間比率)[純資産/事業用資産+インフラ資産]で計算できます。将来への負担を極力抑え、負担を先送りしないよう健全な財政運営に努めています。

### ③ 純資産比率は

越谷市単体=71.7%、連結=68.5%  
 市が持つ資産のうち負債を差し引いた正味の財産の割合を示す純資産比率[純資産合計/資産合計]で計算でき、越谷市は約7割となります。

## 資金収支計算書(キャッシュフロー計算書)

現金の流れを示すものです。その収支を性質に応じて、区分して表示することで、市がどのような活動に資金を必要としているのかを示しています。(表示単位：百万円)

	越谷市単体	連結
期首資金残高	5,125	8,888
当期収支	△ 913	223
(1) 経常的収支	17,144	23,645
人件費支出、税収入、国庫補助金など		
(2) 資本的収支	△ 9,577	△ 11,515
公共資産整備支出、固定資産売却収入など		
(3) 財務的収支	△ 8,480	△ 11,907
元利償還金支出、市債発行収入など		
期末資金残高	4,212	9,111

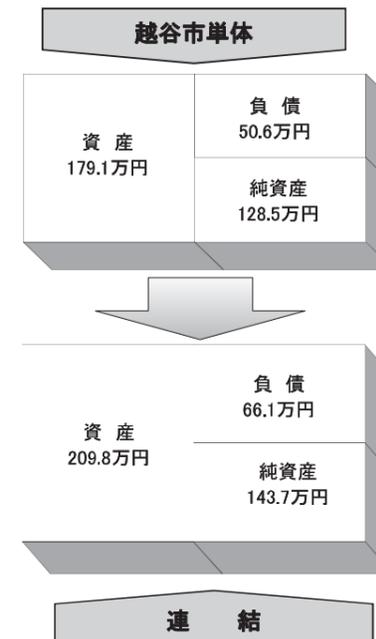
## 純資産変動計算書

市の純資産(資産から負債を引いた残り)が平成21年度中にどのように増減したかを明らかにするものです。総額としての純資産の変動に加え、それがどのような財源や要因で増減したのかを示しています。(表示単位：百万円)

	越谷市単体	連結
期首純資産残高	406,259	452,061
当期変動高	3,987	6,714
(1) 純経常行政コスト	△ 91,908	△ 104,068
経常費用-経常収益		
(2) 財源調達	116,595	134,853
市税、国庫補助金など		
(3) その他	△ 20,700	△ 24,071
道路等の資産形成に充てられた財源		
期末純資産残高	410,246	458,775

## 市民1人あたりの貸借対照表

平成21年4月1日：319,267人



一般会計に区画整理事業や下水道事業、病院事業等を加えた越谷市単体ベースと、越谷市土地開発公社や東埼玉資源環境組合などの一部事務組合等を加えた連結ベースでは、越谷市の市民一人あたりの貸借対照表は上の図のように変わります。

## 行政コスト計算書

市の経常的な活動に伴うコストと使用料・手数料等の収入を示すものです。従来の官庁会計では捕捉できなかった減価償却費など非現金コストについても計上しています。経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが当該年度の純経常行政コストとなります。(表示単位：百万円)

	越谷市単体	連結
経常費用	107,804	133,172
1 人にかかるコスト	21,802	23,290
人件費、退職手当引当金繰入など		
2 物にかかるコスト	10,363	16,063
物件費、減価償却費、維持補修費など		
3 業務にかかるコスト	48,038	51,580
委託料、公債費(利子分)など		
4 移転支出的なコスト	27,601	42,239
社会保障給付、補助金等移転支出など		
経常収益	15,896	29,104
使用料・手数料等	15,896	29,104
純経常行政コスト(経常費用-経常収益)	91,908	104,068

### ●財政状況を単体ベース連結ベースで公表

越谷市は、市民の皆さんに市の財政状況をより理解していただくため、国が推奨する「新地方公会計制度 基準モデル」に基づいて、市や土地開発公社、第三セクターなどの関連団体も含めた連結ベースで4つの財務書類を作成しました。基準モデルでは、資産評価において原則公正価値に基づくなど、より実態に合った資産・債務情報を把握することができるといえます。

○越谷市単体：一般会計、公共用地先行取得特別会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計、交通災害共済特別会計、東越谷土地地区画整理特別会計、越谷市単体：越谷市土地開発公社、越谷市施設管理公社、越谷コミュニティセンター、越谷コミュニティプラザ(株)、(株)埼玉東部流通センター、越谷・松伏水道企業団、東埼玉資源環境組合、埼玉東部市競艇組合、彩の国入づくり広域連合、埼玉東部後期高齢者広域連合を加える。